

指導の狙い

目的に応じて必要な情報を読み取ることができるようにする。

課題の見られた問題の概要と結果

A⑥二 取扱い絵表示の内容に加えて気を付けなければならないこととして適切なものを選択する。

正答率 41.1%

学習指導要領における領域・内容

〔第1学年〕 C 読むこと

イ 文章の中心的部分と付加的な部分、事実と意見などを読み分け、目的や必要に応じて要約したり要旨をとらえたりすること。

授業アイデア例

教材例 ● 美術館の注意書き（文章だけのもの、文章とマークで示したもの）

学習の流れ

① 美術館の注意書きについて、〔資料1〕と〔資料2〕とを比較する。



〔資料1〕は文字だけで説明しているけれど、〔資料2〕はマークと文字で説明しているね。

〔資料2〕は、マークだけだと伝わらない情報が補足されていることが分かります。



〔資料2〕のAのマークは、「カメラでの撮影は禁止」ということしか分からないね。だから、その横に情報を補足しているんだね。



② 〔資料2〕のBのマークに補足する説明を考える。



教師

〔資料2〕のBのマークにどのような説明を補足したらよいですか。〔資料1〕の説明を参考に考えてみましょう。

〔資料1〕美術館の注意書きの一部

作品を鑑賞するには、次のようなことに注意してください。
著作権法上、作品の写真撮影は禁止です。また、フラッシュの使用は作品に悪い影響を与えます。携帯電話での撮影もご遠慮ください。

食べ物や飲み物が作品に付着するのを防ぐため、飲食は禁止です。ガムや飴を口に含んでの鑑賞もお控えください。変色やカビの原因となります。花束などの植物の持ち込みもご遠慮ください。

〔資料2〕のBのマークは、「飲食は禁止」ということは分かるけれど、〔資料1〕を読むと、それに関連してもう少し他の注意が書いてあるな。



それぞれから分かる情報を比較して整理することが大切ですね。では、〔資料2〕のBのマークに補足する説明を書いてみましょう。



〔資料2〕マークを使った注意書きの一部

A

撮影禁止の
ピクトグラム

携帯電話での撮影もご遠慮ください。作品には著作権があります。

B

飲食禁止の
ピクトグラム

留意点

- 「言語活動の充実に関する指導事例集～思考力、判断力、表現力等の育成に向けて～【中学校版】」の事例4なども参考になる。